

会員限定

2018年2月度  
金融システム研究会  
2018年2月14日(水)

# 住信 SBI ネット銀行の FinTech 戦略 ～改正銀行法とオープン API～

**講師：吉本 憲文**

住信SBIネット銀行株式会社 FinTech事業企画部長

 金財情報システム「金融システム研究会」事務局

# CONTENTS

---

## 目次

### 住信 SBI ネット銀行の FinTech 戦略 ～改正銀行法とオープン API～

Slide 2	自己紹介	4
Slide 3	2007年9月24日開業	6
Slide 4	預金残高 ネット銀行 No.1	6
Slide 5	住宅ローン取扱額 ネット銀行 No.1	8
Slide 6	本日のアジェンダ	8
FinTech とイノベーション		8
Slide 7	FinTech への取組みのきっかけ	10
Slide 8	FinTech は金融にイノベーションをまきおこす	10
Slide 9	「イノベーション」とは	12
Slide 10	イノベーションのジレンマ	12
Slide 11	イノベーションは組み合わせによって起きる	14
Slide 12	一方、FinTech といえば	14
Slide 13	FinTech は銀行にとって危機か？チャンスか？	16
Slide 14	FinTech のインフラになること目指して	16
イノベーション事例「おつり」		18
Slide 16	おつりを使ったイノベーション	18
Slide 17	目的に向かって楽しく貯める「finbee」～住信 SBI ネット銀行の口座と連動～	20
Slide 18	「finbee」デビットカードを使って、おつりで貯金	20
Slide 19	楽しく貯金をするだけで銀行、finbee 両方のポイントが貯まる	22
Slide 20	楽しく貯金をするだけで銀行の手数料も優遇される	22
Slide 21	エクストリームな使い方 ORIGAMI でタクシーに乗る (¥10,000)	24
Slide 22	エクストリームな使い方 ORIGAMI でタクシーに乗る (¥10,000)	24
Slide 23	おつりを使ったイノベーション～ Acorns の場合～	26
Slide 24	おつりを使ったイノベーション～ マメタスの場合～	26

Slide 25	ロボアドバイザーでもランクアップ楽しく投資して、銀行をかしく使う	28
Slide 26	マメタスバージョンアップ! (2018/2/6) 更新系 API でリアルタイムに投資口座へ	28
<b>改正銀行法</b>		<b>30</b>
Slide 28	改正銀行法関連 鳥瞰図	30
Slide 29	改正銀行法 施行スケジュールおよび経過措置	32
Slide 30	改正銀行法関連 スケジュール	32
Slide 31	電子決済等代行業者連携方針	34
Slide 32	主なパブリックコメントとその回答抜粋	34
<b>住信 SBI ネット銀行の API 接続事例</b>		<b>36</b>
Slide 35	MoneyForward for 住信 SBI ネット銀行	38
Slide 36	API 公開に関するお客さまの反響	38
Slide 37	「残高照会・入出金明細照会 API」提供事例	40
Slide 38	「残高照会・入出金明細照会 API」提供事例	40
Slide 39	「本人確認済情報 API」提供事例	42
Slide 40	「振込連携機能」提供事例	42
Slide 41	「総合振込 連携機能」提供事例	44
Slide 42	「更新系 API」提供事例	44
Slide 43	「更新系 API」提供事例	46
Slide 44	「リアルタイム口座振替 API」提供事例	46
Slide 45	各 API 接続におけるメリットの整理	48
<b>オープン API 戦略</b>		<b>50</b>
Slide 47	すぐれた戦力の条件はストーリーにあり	50
Slide 48	スターバックスでは	50
Slide 49	汎用的な API 基盤が競争力の源泉になっている	52
Slide 50	サービス革新は業界内に閉じるとは限らない	52
Slide 51	オープン API 戦略	54
Slide 52	API をめぐる今後について	54



ただいまご紹介いただきました住信 SBI ネット銀行の吉本と申します。

今日、私からは、「当社の FinTech 戦略」と「改正銀行法とオープン API」といったテーマでお話をさせていただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

お手元の資料と投影するスライドに関して、普段は差異があるのですが、今日はきんざいさんと調整しまして差異なしなので、お手元の資料が全部投影するスライドと一緒になっています。ですので、見やすいほうでご覧いただきながらお話をさせていただければと思います。

早速、中身に入らせていただきます。

## Slide 2 自己紹介

まず簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は、2015年2月からですので、ちょうど丸3年、住信 SBI ネット銀行に所属しております。2年半ほど前に FinTech 事業企画部ができて、こちらを担当しております。

4社ほど転職しておりまして、左下の会社から順々に経験しています。金融機関としては、住信 SBI ネット銀行が最初というようなキャリアです。

現在、外部委員活動もいくつかやらせていただいています。たとえば日本銀行さんの「ITを活用した金融の高度化の推進に向けたワークショップ」に関しては、ラウンドテーブルをやっていたり、

全国銀行協会さんのほうでも、APIの研究会や検討会などがありまして、そちらの委員もやらせていただいています。

それから、FISCさんのほうでも、昨年、FinTechに関する有識者検討会で委員を務めさせていただきました。

# 住信SBIネット銀行の FinTech戦略 ～改正銀行法とオープンAPI～



住信SBIネット銀行

2018/2/14

## 自己紹介

住信SBIネット銀行  
https://www.netbk.co.jp/

吉本 憲文  
FinTech 事業企画部長  
noryosh@netbk.co.jp  
〒106-6018  
東京都港区六本木 1-6-1  
ガーデンタワー 18F  
TEL 03-6229-1355  
FAX 03-3582-0358

**NRI** 未来創発  
Dream up the future. **野村総合研究所**

**KABU ROBO**  
advanced robot trading platform

**YAHOO!**  
JAPAN

略歴	
2015年2月	住信SBIネット銀行 入社
2015年8月	同 FinTech事業企画部長

外部委員活動	
2015年10月	経済産業省 FinTech研究会 委員
2015年12月	日本銀行 ITを活用した金融の高度化の推進に向けたワークショップ 委員
2016年9月	全国銀行協会 API研究会・検討会 委員 BC検討会 委員
2016年10月	FISC FinTechに関する有識者検討会 委員

### Slide 3 2007年9月24日開業

2007年9月開業ということで、現在、「開業10周年」と言っていますけれども、インターネットフルバンキングサービスを提供する会社でございます。

口座数は9月末時点で296万だったのですが、最近300万口座を超えております。

預金残高も4兆円ちょっとというような感じです。親会社は三井住友信託銀行とSBIホールディングスの50%・50%という構成です。

### Slide 4 預金残高 ネット銀行 No.1

預金の話はさせていただいたので、4ページ目は飛ばします。

## 2007年9月24日開業 インターネットフルバンキングサービスを提供

口座数	<b>296万口座</b>
預金残高	<b>4兆3,112億円</b>

2017年9月末時点

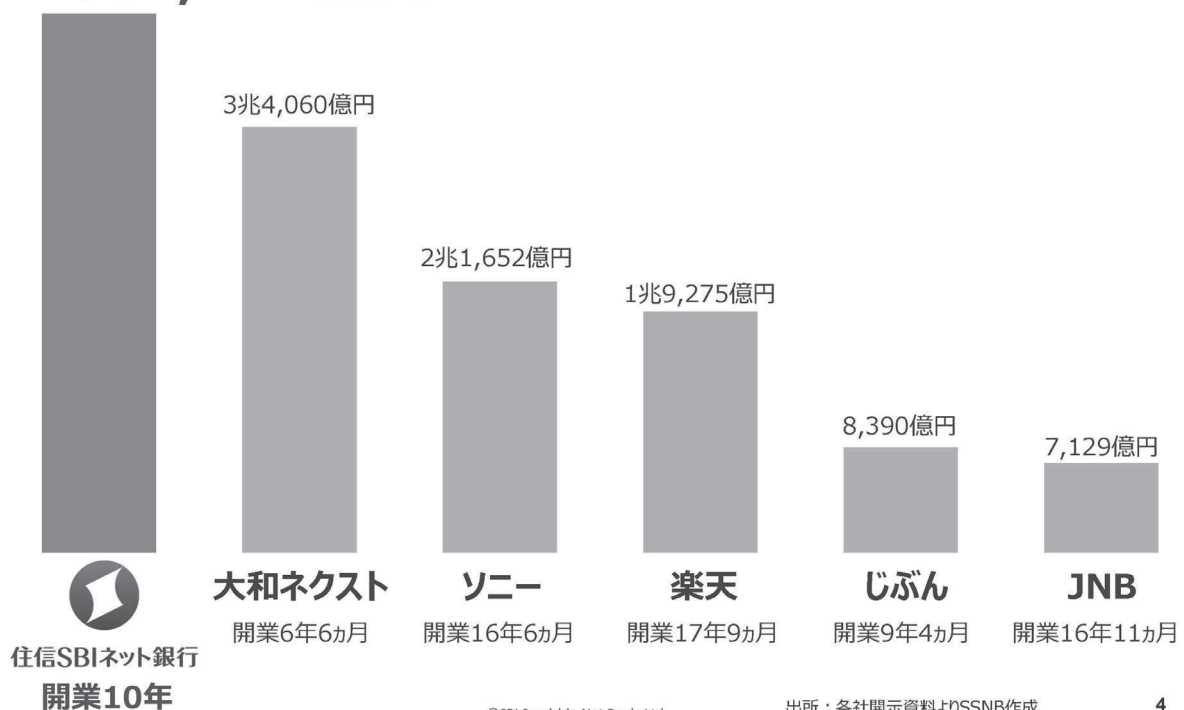
会社名	住信SBIネット銀行株式会社	
代表者	代表取締役会長 藤田 万之葉 代表取締役社長 円山 法昭	
従業員数	514名	
株主構成	SBIホールディングス株式会社	50%
	三井住友信託銀行株式会社	50%

©SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

3

## 預金残高 ネット銀行No.1 ※2017年9月末時点

### 4兆3,112億円



©SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

出所：各社開示資料よりSSNB作成

4



## Slide 5 住宅ローン取扱額 ネット銀行 No.1

住宅ローンが引き続きご好評をいただいています。ネット銀行の中ではきっと取扱高もナンバーワンなのかなというふうには思っています。2017年9月時点で4兆円弱の取り扱いという実績になっています。

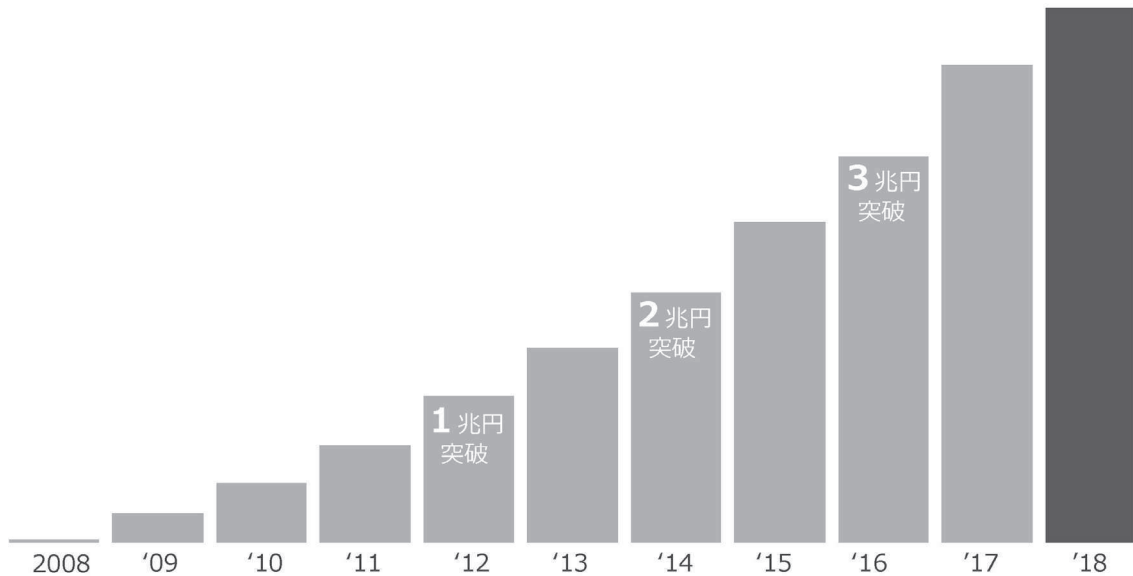
## Slide 6 本日のアジェンダ

「本日のアジェンダ」として、6ページのような内容でお話を進めさせていただきたいと思っています。

## FinTech とイノベーション

## 住宅ローン取扱額 ネット銀行No.1 2017年9月末時点

3兆7,787億円



©SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

出所：各社開示資料よりSSNB作成

5

## 本日のアジェンダ

FinTechとイノベーション

イノベーション事例「おつり」

改正銀行法

住信SBIネット銀行のAPI接続事例

オープンAPI戦略

©SBI Sumishin Net Bank, Ltd.

6

## Slide 7 FinTech への取組みのきっかけ

当社としての「FinTech への取組みのきっかけ」をご紹介します。

先ほども少し申し上げましたが、2015年8月25日にマネーフォワードさんと業務提携を発表させていただきました。そのときに FinTech 事業企画部をつくりまして、同日、私がそこの担当になっていますが、それ以来、当社としては FinTech というものへの取組みをやっていくということを表明しております。

実際、「ワールドビジネスサテライト」にて、当日、FinTech というキーワードが広がっていますよという報道があり、当社の代表取締役の円山が、「今年がフィンテック元年になる」と発言し、下の写真のように、北尾と、昨年上場されたマネーフォワードの辻さんと当社の円山とで握手するという写真が撮られました。この写真は 2016年1月1日の日経新聞の FinTech 特集、元旦の特集でも使われて、2015年は FinTech がはやりましたねというところで取り上げられた象徴的なイベントだったのかなと思っていました。当社としても、ここが FinTech を推進していくきっかけとなっております。

## Slide 8 FinTech は金融にイノベーションをまきおこす

では、国全体ではどうかということかというと、2015年12月に、金融審の、決済業務等の高度化に関するワーキンググループの報告書が出ていまして、そこに「FinTech の登場」という言及があります。私が注目したいのはこの赤く囲っている「イノベーション」というキーワードでして、1枚の中にこんなに同じキーワードを並べるとするのは、相当に強調する、相当に力を入れているテーマなのだろうと思っています。

FinTech は金融にイノベーションを巻き起こす、巻き起こしてほしいというのが国からのメッセージだと思っています。その要素として、下に青囲みさせていただいていますが、「オープン API のあり方」が位置付くということだと思います。